国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学
第87回経営協議会議事要録

日 時 令和2年6月18日(木) 13:00～15:30
場 所 北陸先端科学技術大学院大学
石川キャンパス 本部棟 中会議室
東京サテライト 特別応接室 ※テレビ会議システムにて接続
出席者 寺野稔(議長), 飯田弘之, 永井由佳里, 西山和徳, 黒田壽二, 細野昭雄,
水田博, 相澤益男, 井熊均, 岩澤康裕, 小俣一夫, 久和進, 澁谷進,
中尾正文及び平澤冷の各委員
欠席者 谷本正憲委員
オブザーバー 三宅幹夫監事, 三谷明子監事, 西本一志学系長, 上原隆平学系長,
山口政之学系長, 塚原俊文学系長及び南良一石川県企画振興部課長

議事に先立ち, 西山理事から, 経営協議会の位置付けについて, 資料1に基づき説明があった。また, 議長から, 事前に送付した令和2年3月19日開催の第85回経営協議会の議事要録(案)及び令和2年4月15日付け開催の第86回経営協議会(書面付議)の議事要録(案)について, 資料2-1及び2-2に基づき説明があり, 原案のとおり承認された。

議 事

<意見交換>

- 1 新型コロナウイルス感染拡大防止等に向けた取組について
学長から, 新型コロナウイルス感染拡大防止等に向けた取組について, 資料3に基づき説明があった。
- 2 教育活動について
飯田理事から, 教育活動について資料4に基づき説明があった。
- 3 研究活動について
永井理事及び水田特別学長補佐から, 研究活動について資料5-1及び5-2に基づき説明があり, 委員から以下のとおり意見が述べられた。
 - ・論文に基づいた研究力分析ということであったが, 企業でも, 特許を対象に同様の分析を行っている。例えば, ある事業領域の特許を分析することにより, その領域における自社のポジションや他社との補完関係がわかってくるので, M&Aの戦略を立てる上で役立つ。これを大学にあてはめると, 論文の分析によって国内外の他大学と比較した強み

弱みの補完関係がわかり，連携先の探索に繋がるのではないか。また，時系列でのデータ分析により，技術のトレンドや，その組織がどの方向に動いているかということがわかるので，そのような分析方法も試されるとよい。データ分析は非常に重要なことなので，今後も積極的に取り組んでほしい。

- このような分析がこれからの研究戦略のベースになっていくと思うが，分析を行う際は，ターゲットとなる指標を上げていくという具体的な目標を掲げ，そのための施策を展開し，その施策が指標にどのようなインパクトを与えたかというところまでフォローしていくことが重要である。また，国際研究ニュース発信サイト等への記事掲載による論文被引用数へのインパクトについて説明されていたが，自ら掲載するだけでなく，メディア戦略・ネットワーク戦略にも力を入れていくべき。
- 研究力のデータ分析を行い，研究戦略を立てる上で，NAISTとOISTがこれからもベンチマークの対象になる。NAIST・OISTにはないJAISTの最大の強みとして，一研究科体制であることを中心軸とした強力なメッセージを打ち出していく必要があると考える。

<審議事項>

1 第3期中期目標期間の評価について

大学戦略・広報室長から，第3期中期目標期間の評価について，資料6-1，6-2，6-3及び6-4に基づき説明があり，審議の結果，原案のとおり承認された。
なお，修正等の必要が生じた場合の対応については，学長に一任された。

2 令和元年度決算について

会計課長から，令和元年度決算について，資料7に基づき説明があり，審議の結果，原案のとおり承認された。

3 令和3年度概算要求について

会計課長から，令和3年度概算要求について，資料8に基づき説明があり，審議の結果，原案のとおり承認された。

4 令和3年度施設整備費補助金概算要求事業について

施設管理課長から，令和3年度施設整備費補助金概算要求事業について，資料9に基づき説明があり，審議の結果，原案のとおり承認された。

5 学内規則の一部改正

• 学則の一部改正について

総務課副課長から，学則の一部改正について，資料10に基づき説明があり，審議の結果，原案のとおり承認された。

- ・ 役員報酬規則の一部改正について

人事労務課長から、役員報酬規則の一部改正について、資料11に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

6 教員人事の将来構想（案）について

学長から、教員人事の将来構想（案）について、資料12に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。また、委員から以下のとおり意見が述べられた。

- ・ 総教員数の目標を180人に設定されているとのことだが、全体の人数だけでなく、その年齢分布が重要になってくる。統計的に見れば、ベテランの研究者に比べ、若手研究者の方が高いパフォーマンスを示すということは歴然としている。現状はどちらかという若手教員の比率が低いので、アクティビティの高い若手研究者を多く採用していかなければならない。また、OISTでは、厳しい評価システムを取り入れることにより、数多くの優秀な研究者を雇用し、大学として高いパフォーマンスを作り出せるようになった。必ずしもJAISTで同じような評価を行う必要はないが、大学の目指すものに合わせて、途中の段階でチェックできる仕組みは作るべき。これは、ダメな人を排除するためのものではなく、それぞれが目標を持って努力するためのきっかけを与えるものであるべきで、研究者の背中を押すような評価制度になればよいと思う。
- ・ 人事戦略は、JAISTの未来を左右する重大課題である。学長裁量の側面が強調されていたが、学長の構想を全学共通認識のもとに進めることが肝要である。そうしないと、学内から不満が噴出する可能性がある。将来構想を策定し、その検討プロセスをオープンにすることが重要である。その中には新領域の創出も当然含まれるであろう。痛みを克服してもらった唯一の言葉は「JAISTの未来のために」であると思う。

<報告事項>

1 平成31年度（令和元年度）チェック・アンド・レビューの実施について

永井理事から、平成31年度（令和元年度）チェック・アンド・レビューの実施について、資料13-1及び13-2に基づき報告があった。

2 外部資金の受入れ状況について

研究推進課長から、外部資金の受入れ状況について、資料14に基づき報告があった。

3 令和元年度経営協議会学外委員等からの意見と対応状況について

学長から、令和元年度経営協議会学外委員等からの意見と対応状況について、資料15に基づき報告があった。

4 最近の本学の活動状況及び本学に関する新聞報道について

大学戦略・広報室長から、最近の本学の活動状況及び本学に関する新聞報道について、資料16-1及び16-2に基づき報告があった。

<その他>

1 次回の開催について

議長から、次回の本協議会の開催を令和2年9月17日（木）に予定している旨の説明があった。

資料

- 1 経営協議会について
- 2-1 第85回経営協議会議事要録（案）
- 2-2 第86回経営協議会（書面付議）議事要録（案）
- 3 新型コロナウイルス感染拡大防止等に向けた取組について
- 4 教育活動について
- 5-1 研究推進・国際交流
- 5-2 JAISTの研究力分析
- 6-1 第3期中期目標期間の評価について
- 6-2 平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間（平成28～31事業年度）に係る業務の実績に関する報告書（案）
- 6-3 中期目標の達成状況報告書（案）
- 6-4 研究科等の現況調査表（案）
- 7 令和元年度決算について
- 8 令和3年度概算要求事項（案）
- 9 令和3年度施設整備費補助金概算要求事業（案）
- 10 学則の一部改正について（案）
- 11 役員報酬規則の一部改正について（案）
- 12 教員人事の将来構想（案）について
- 13-1 平成31年度（令和元年度）チェック・アンド・レビューの実施について
(エクセレントコア)
- 13-2 平成31年度（令和元年度）チェック・アンド・レビューの実施について
(研究施設)
- 14 外部資金受入金額(平成27年度～平成31年度実績)
- 15 令和元年度 経営協議会学外委員等からの意見と対応状況
- 16-1 最近の本学の活動状況について
- 16-2 報道された本学関係記事